



森林ふれあい情報

令和4年10月
第59号

林野庁中部森林管理局

木曽森林ふれあい推進センター

〒397-0001 長野県木曽郡木曽町福島1250-7

TEL: 0264(22)2122 FAX: 0264(21)3151

E-mail: kiso-fureai@maff.go.jp

今年の夏は天候不順だったため、イベント等の実施日が近づくとも天気予報が気になりました。幸い雨天による延期や中止となったイベント等はありませんでしたが、駒ヶ岳での植生復元作業は雨の中の作業となりました。

教職員森林・林業学習会

8月3日、上松町小川入国有林（赤沢自然休養林）において木曽郡内の小中学校の教職員を対象に森林・林業学習会を開催しました。



森林鉄道に乗車する参加者



木曽五木の説明を聞く参加者

今回のコースは、昨年度の中部森林管理局森林技術交流発表会で当センターが発表した、16世紀から17世紀に伐採されたと推測される木曽ヒノキの伐根からサンプルを採取し、酸素同位体解析を行った箇所の見学を取り入れており、職員・研究関係者以外では初めての案内になりました。先生方は天眼鏡で伐採面の年輪を数える等、その伐根や今後の調査研究の成果に興味を持たれた様子でした。



天眼鏡で年輪を数える参加者

その後、木曽五木が生育する森林や昭和60年に御杣始祭が開催された場所を見学して予定の行程を無事終了しました。

先生方からは、「木曽ヒノキ等の大樹が生育する天然林に圧倒された」、「普段立ち入ることができない場所を見学し、子供たちへの教育に大変参考になった」との感想をいただきました。

追記

参加いただいた先生から、「校庭に木曽五木が植えてあるが、この学習会でそれぞれの樹木の材質や用途が分かったので子供たちにも学習させたい」と森林学習の依頼があり、後日、木曽森林管理署から小学校の生徒に森林林業体験を実施しました。

みよし市友好の森ふれあいツアーの開催

8月27日、木曽町三岳地区において「みよし市友好の森ふれあいツアー」が開催され、当センターと木曽町森林組合の職員が協力して間伐作業等の指導を行いました。

この「みよし市友好の森」は、元々国有林であった森林を、平成3年度および11年度に当時の愛知県三好町が住民の暮らしで恩恵を受けている木曽川の水源地の保全等を目的に取得したもので、平成15年からふれあいツアーが開催されているものです。



間伐体験をする参加者



作業地に向かう参加者

当センターでは、ツアー開始当時から除間伐作業の指導を行っていますが、コロナ禍のため今回は三年ぶりの開催となりました。

早朝、みよし市を出発した市民18名は現地に到着後、5班に分かれヒノキの間伐作業とクマによるヒノキの皮剥ぎ被害防止のためのテープ巻き作業を体験しました。

この日は大気が不安定で午前中は雨模様でしたが、午後になると雨もあがり予定した作業は怪我もなく無事に終了しました。

ツアー終了後にみよし市が行ったアンケートでは、「木を伐ることが楽しかった」、「指導員の皆さんが親切でよかった」、「また木曽町を訪れたい」との感想が寄せられ、指導を行った私達職員もこの活動の大切さを再認識するとともに、今後も継続して取り組んでいく必要があると感じました。

駒ヶ岳植生復元作業

9月8日、上伊那郡宮田村の黒川国有林（木曽駒ヶ岳）で平成17年から当センターが主体となり行っている植生復元作業を行いました。

今年は長野県、宮田村、南信および木曽森林管理署職員等の応援を得て総勢24名で行いました。



種子採取しながら資材運搬（8月5日）



種子採取しながら資材運搬（8月23日）

植生マット等の資材は、作業地の事前確認や播種用の種子を採取した際にあらかじめ作業地近隣の宝剣山荘まで運搬し仮置きをさせてもらっていたため、当日は急な登り坂である八丁坂での荷物運搬はありませんでした。

この日は台風11号の影響により大気が不安定で作業は強い雨が降る厳しい条件下でしたが、参加者が連携して作業を進めたため予定した植生マットの敷設と播種を無事に終えることができました。



植生マットの敷設状況



播種の状況

この作業地一帯はライチョウが度々目撃される稜線で、勾配が緩やかな登山道でもあることからここを散策される方は年々増えています。

今年の作業地の付近には近年の敷設箇所があり、そこでは植物の稚樹が散見され少しずつではありますが、これまでの取組の成果を実感することができます。



令和3年度の作業箇所の状況



敷設完了

また、この復元作業により作業を行った現場を視覚的に認識できるため、登山道以外への踏み込みの抑止と表土の保全、種子の保持等が期待できることから今後も関係機関と連携し継続して実施していく考えです。

編集後記

台風15号が通過してから当センターが所在する長野県木曽町は一気に寒くなりカラマツも色づいてきました。今シーズンは何回降ったのか数えていませんが、御嶽山に7回雪が降ると里にも雪が降るとか（諸説あります）。山麓の木曽町開田高原は、時には北海道より冷え込むことがある高原です。これからの挨拶は「寒いね～」です。

お知らせ

当センターは、11月24日（木）に下記住所に移転をする予定です。
なお、電話番号は変更ありません。

新住所 397-0001 長野県木曽郡木曽町福島5473-8

旧住所 397-0001 長野県木曽郡木曽町福島1250-7